

駅のあ  
る風景

## 六甲ケーブル土橋駅

多田智満子

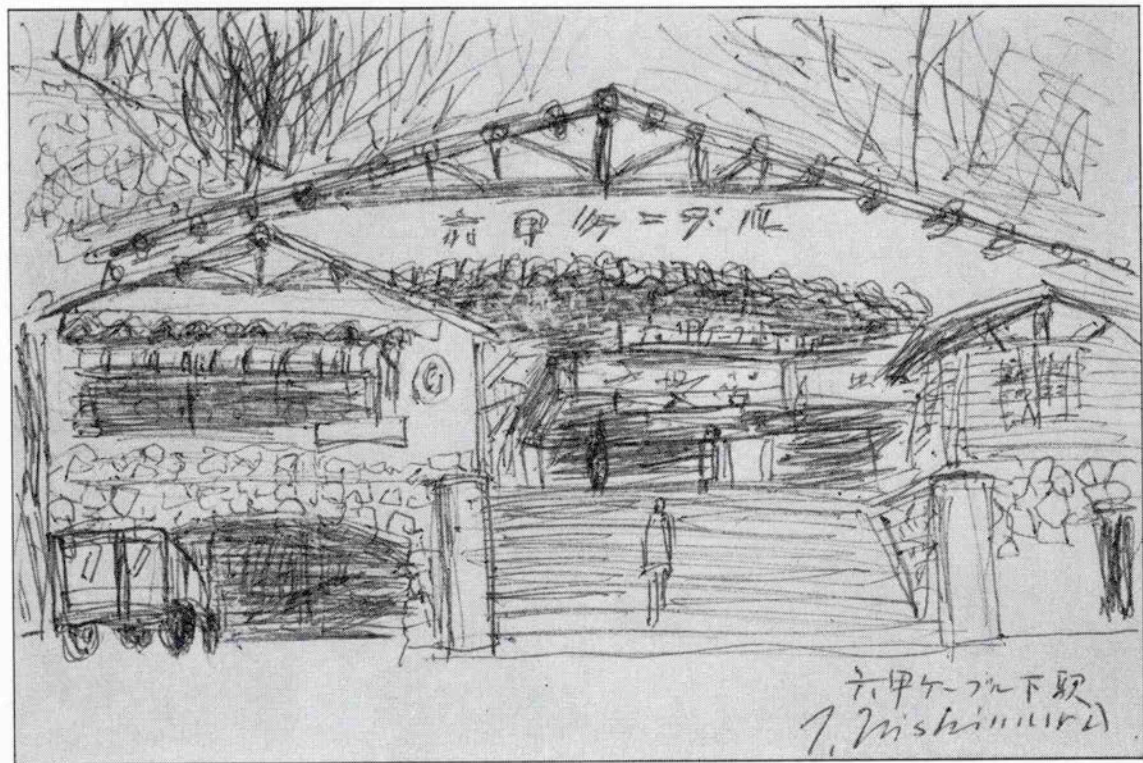
詩人

私の家の近くには、ケーブルの駅が二つある。ひとつは六甲ケーブル土橋駅、ひとつは名は何とか知らないけれど、摩耶ケーブルの駅。東京の友人などにこんなことをいえば、うらやましがられるにちがいない「地の利」なのだ。

摩耶ケーブルの方が家に近く、犬をつれての散歩にちょうどよい距離であるし、とくに春はその近辺にみごとに桜の並木があって、花のトンネルを通るのはすこぶる心地よい。そんなわけで、こちらの方が六甲ケーブルよりも私にはなじみぶかいのである。

土橋駅は、六甲山に車でのぼるとき、ちらりと横目で眺めて通るくらいのもので、ドライバーにとってはこの駅よりも、数百メートル上の料金所料金所の方が六甲山への門という印象がある。しかしこの土橋駅は、深い谷を控え、切り立った峯にかこまれた地形で、文字にはなりにくい絵にはなりそうである。

土橋駅、といって私がまず思い出すのは、全くのわたくしごとで、高校時代の息子のことである。彼は摩耶ケーブル下の高校に徒歩で通学していたが、毎日家から六甲土橋駅までジョギングするのを日課としていた。海星病院の前の道を東へ走り、六甲川を渡り、そのまま川ぞいの坂道を土橋まで登る。気候のよい時はともかく、雨の日も、酷暑炎天のもとでも、一日として「土橋通い」を休まなかった。だから私は、たまに車を運転してこの辺りを通るとき、この急坂を、苦しげに汗かきながら登っている十七歳の少年の顔を想い浮べずにはいられないのである。



JR灘駅  
有井基

神戸新聞編集委員

神戸が「坂のまち」であることを、これほど強く実感させる駅は他にない。実際は他の各駅も、六甲山系から海に降るゆるやかなスロープに横たわっているのだが、「灘」は駅舎の前後に小じんまりとまとまった緑地空間があつて、見通しがきくせいだろうか。

王子動物園、王子陸上競技場、県立近代美術館などから坂を下つて、和田市場を左手に商店街に入ると、吹きおろす風の道の正面に駅舎が見える。大小三つの白い箱を凸の形に並べたような駅舎の左端から、グリーンの板張りの陸橋が三角の頭を出しているのも、昔の面影をしのばせて、ほほ笑ましい。

凸型の真ん中の建物は、上半分が前後に半円形のガラス窓になつていて、棧のデザインが面白い。玄関をくぐる時、ヒョイと上を見ると「本屋（ほんおく）1号 大正12年3月」と記されている。当時とすれば、ずいぶんハイカラな駅だったろう。

明治四十三年七月、神戸港への臨港線の貨物駅として設置され、いまも臨港線の跨線橋「灘のタカバシ」を残しているが、大正六年十二月、乗客用の停車場となり、同十三年五月に構内を拡張。同時に南北へ通じる里道がつくられたという。

陸橋を渡って下り線ホームから駅舎の地面を見ると一メートル近い段差が「坂の駅」を表わし、赤茶けた石垣が歴史を語っている。

南出口を出れば、また下り坂。今は公園となつた駅前から南は工場群だ。北との対照が妙である。



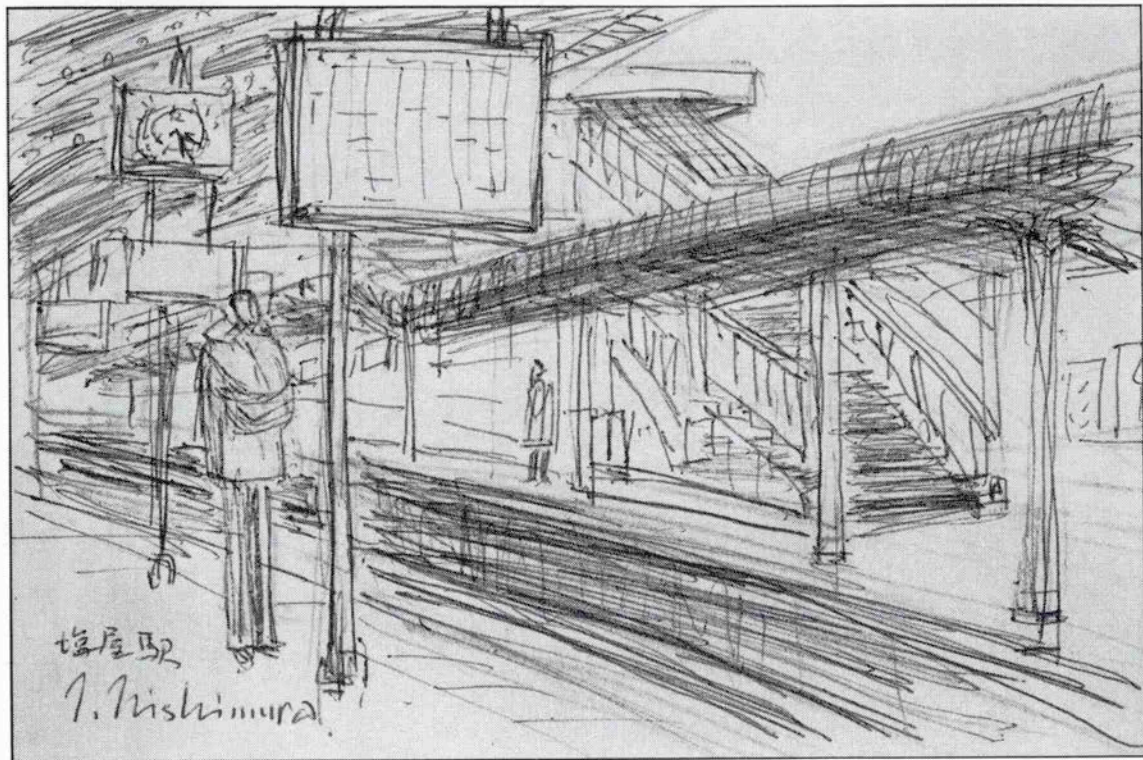
# 神戸

## 駅のあゝる風景

### JR塩屋駅

季村敏夫 詩人

JR塩屋駅のプラットホームに佇んでいる。(幼少の頃、亡父の省線という語感が今も強く胸に残っているので、どうもJRとは恥ずかしくて云いにくいのだが)目を瞑り、耳を澄まし、胸をはり、そうして背筋を伸ばして、風を受けとめてみる。そこではじける光の顆粒を、脳髓のなかで描いてみる。海の匂いを、身体を吹流しのようにして、頭から足先にながしてみる。三宮から、淡路の島影がほのみえるここまで辿ってくると、おもわず西、と囁きたくなる。源氏物語須磨の巻をひろげるまでもなく、別に落日を想起する訳でもないのだから、不思議なものだ。受験勉強に疲れ、西国街道を詰め襟に下駄をカランコロンさせ、海に向かったことがかかってあった。海の匂いを胸いっぱい吸いこみたかった。ああ、ここは西国なんだ、そこに明石海峡があり、その向こうに紫いろの島影がみえる。受験生の胸はせないものだった。今、目を瞑り、波の音、海鳥の囀り、風のそよぎ、光の揺らぎなどをおもっていると、自分の十代の終わり頃の風景がよみがえった。たとえばくが目を開いていても、今ここで繰り上げられている現実の塩屋の風景にはいっかな無関心のふうでさえある。そういえばゆうぐれどき、まだ三十まえの若い先生の美しい死顔に一輪花を捧げ、そのまま泣きながら塩屋の駅まで駆けたこともあった。そう、そんなこともあった。



塩屋駅

T. Nishimura

## 地下鉄総合運動公園駅

坪田健児

元神戸市交通局長

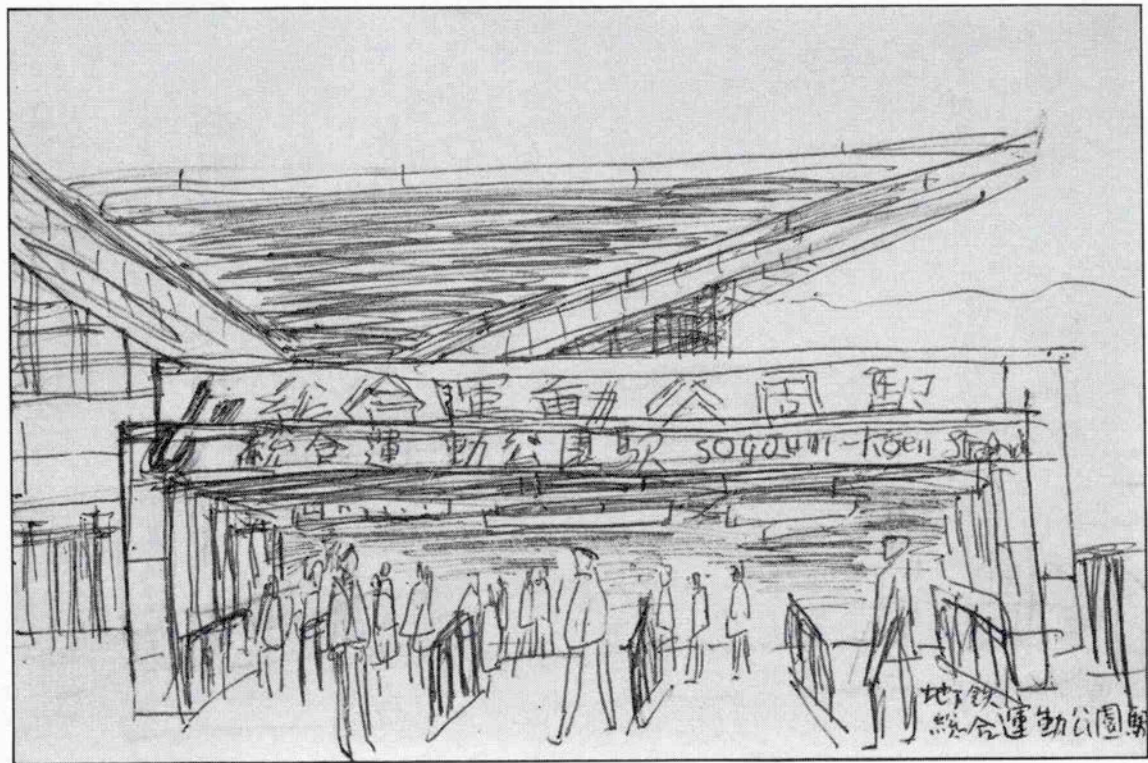
私がこの総合運動公園駅と関わるようになったのは、昭和五十七年の四月に交通局長を命ぜられた時から、今春、三月退職になるまでの六年間である。

地下鉄の駅は、その街のイメージアップと、街づくりと駅の個性化にあるわけだが、この駅は、十三ある駅の中で一番手のかかるわんぱく小僧で、いつも眼を離せない気にかかる駅であった。

神戸市がスポーツ都市宣言をし、この駅の界限は、ユニバー記念競技場、テニス場、グリーンスタジアム、グリーンエキスポ公園などが集まるスポーツタウン界限に成長した。中でも初めてのスポーツイベントは、ユニバーシアード。開会式は六万人を迎えるため着任早々の設計変更で、土木局の井田さんに予備ホームを創るなど苦労をかけた。特に、学園都市の選手村への選手輸送が、バスから地下鉄になり、一駅間特別車両づくりを急拠やるなど大変だった。開会式は、青い三角屋根の側にある物見台から、人の出入を眺め会場の歓声だけを聞いているという状態で、事故なく終了してほっとしたものだ。

次は野球場のオープン、そして、来年開かれるフェスピック対策だ。野球は、試合状況で刻々と乗客の出入が変るし、フェスピックは予備ホームをスロープにするなど国際行事なので気を配った。

いづれにしても安全第一なのだが、群衆の感情はコンピュータで計れない。やんちゃな駅「総合運動公園駅」は、私にとって今も忘れられない気にかかる駅である。



駅 の あ る 風 景

ポトライナーポートターミナル駅

鈴木 漠

詩人

ポートアイランドに移り住んで、かれこれ五年近くなるが、ポトライナー沿線のデジタル風な駅名は、私のようなアナログ派には、いまだにどうも馴染みがないところがある。「中公園」と「中埠頭」、「北埠頭」と「中埠頭」、「中公園」と「南公園」、それに「市民病院前」と「市民広場」。いつも混乱してしまう。私ばかりではない。車内で耳にする会話、特に遠来の観光客などは、しょっちゅう言い間違ったり、聞き違えたりしているようだ。どういいう経緯で、かくも味気無い命名がなされてしまったのだろう。「ポーツアイ」という略称の単俗さに、かつて詩人の竹中郁氏が憤慨されたのも、むべなるかな。

中で、「ポートターミナル」という駅名は、まあ、是とすべきだろうか。駅に隣接する神戸大橋と相まって、そのあたりから俯瞰する風物は、最も神戸らしい景観として推すに足る。外国の豪華客船や、あるいは四本マストの白い練習船が接岸していれば、もうそれだけでお祭り気分だ。

ポートターミナル駅。そして閑散とした入港船のない日は、これまた、あっけらかんとして明るい。降りる客もなければ、乗る客もない。周辺の建築が、ジョルジョ・デ・キリコの絵のような、不思議な表情をかいま見せるときである。



絵／西村 功

# 神戸まつりを広く市 民の参加でききる祭に

■座談会出席者

妹尾美智子〈神戸婦人団体協議会 専務理事〉

草野 且〈宝塚歌劇団演出家〉

末廣 光夫〈神戸まつり実行委員〉

田中 徳喜〈神戸まつり実行委員〉

増田晴信〈神戸まつり企画調整会議議長〉

今田由美子〈ジョン・スワイヤー勤務カッターレース選手〉

神戸まつりが今年で18年目を迎えます。市民のお祭りとしてすっかり定着して来ました。今年は5月13日～15日神戸市全域で開かれますが、まずはこれまでの大きな流れをふりかえって、どのように変遷して来たか、また今年の神戸まつりにはどのようなプランが用意されているのか、今回は神戸まつりに関わりのある方々にお集まりいただきお話しをお伺いしました。

18年の歴史をふり返って……

——神戸まつりも今年で18年目。本当に「あつという間に」という表現がびったりなんです。やはりその裏には皆様方の人知れぬ御苦労があったと思います。

まずはそのあたりを、最初から御参加なさっている妹尾先生にお伺いしたいと思います。

妹尾 まあ「18年」と言いますと、ほんとに永く感じるんですが、それでも市民参加型のまつりにしては、まあなんとかよく育って来たな、という感じがしますね。演出なんかも素人がやって来たわけですが、そういう意味では続けることが精一杯だったというのが本音でして、



今田 由美子さん



末廣 光夫さん



田中 徳喜さん



草野 旦さん



妹尾 美智子さん



増田 晴信さん

今、よくよく考えてみますと、例の暴走族の事件があった時が一つの危機でしたね。それからもう一つの危機がポートピアのありました時、あの時には大きな祭りに小さな祭りが押しつけられそうになりましたね、これがまあ、二つめの危機ではなかったかなあ、という感じがするんですよ。でまあ、二つの山を越えて来ましてこれからどういふふうにな成長してゆくか、ということが問題になってくるんですが、非常にうれしく思いますのは、中央の行事だけでなく、むしろ各区でなさってる地域の祭りが、年々盛大になって来ていますね。あれは参加型の祭りとしては非常に喜ばしいことだと思いますね。

しかし、ポートピアの時を一つの危機だと申し上げたのは、あの時には異常な交通規制が行なわれましてね祭りが博覧会の会場の中に押し込まれてしまったんですが、実際に蓋を開けてみますと、何もあそこまで交通規制をする必要はなかったんじゃないかという感じが残りまして、この辺は長い祭りの歴史の中で、一つの傷になってしまったんじゃないかという思いが、今に残っていますね。

田中 そうですね。あの規制はやっぱりやるべきではなかったかと思えますね。

妹尾 やはり何となくね、ああいう祭りを規制しよう、規制しようという雰囲気があるわけです。交通規制だけではなくて、いろんな所の規制が全部かかろうとしているわけです。で、規制しようという力をうまく排除していくというのが、目には見えませんが、参加型の祭りの中で裏方が一番苦労してる部分でしようね。

—— 末廣先生はいかがですか？だいぶん深く関わっていらっしやっと思えますね。

末廣 やはり、でき上がってしまえば、僕ら、つまらないですよ、＼やろう！＼っていう時はおもしろいなと思うんですが、でき上がってしまえば、＼もういいや＼って感じになってしまうんですよ(笑)。だから、また違った形のをやるうなんていう面が出れば、また面

白いと思うんですがね。

田中　そうですね。何か新しい事をやろう、と言うんですが全然動きがないですね。神戸まつりは非常に特色のある祭りなんですから、新しい事をもっと取り入れていってもいいと思うんですが、時間まで完全に決められてしまっていて、なかなか難しいですね。

妹尾　そうですね。それが「目に見えない規制」と申し上げるところのものなんですよ。だからね、祭りの事をいろいろとやらして頂いておられますけれど、去年どおり、去年どおり」と言い出したらね、私はもうそんなもの止めてしまったらいいと思ってるんですよ。「去年どおり」と言い出したらね。

——増田さんはいかがですか？

増田　そうですね：神戸という街は国際都市だと言われているんですが、先ほど妹尾先生もおっしゃいましたけれども、気持ちとか心の規制というものがいつまでも中にありまして、何か一歩：踏み出せない。それに神戸まつり自体が大きな祭りになって来ましたから、担当者になった方には、ある意味で無難に祭りを過ごしてしまおうという気持ちがあるんでしょうか、その日いち日すべてを忘れて祭りを楽しもうという祭り本来の活気みたいなものが失なわれつつあるのではないかと思いますね。満18歳を迎えて、そういう心の規制を少しでも取り除くことができれば、また違った意味で神戸まつりを演出できるのではないかと思いますね。だから田中先生がおっしゃられる新しい発想というものも、各パートごとに毎年分担を決めていってしまえば、各パートからは違った形のもが出てくるんじゃないかと思えますね。ま、満18歳ですからもまだこれからですよ。

——草野先生はいかがですか、宝塚での演出もからめてどういうふうな御意見をお持ちですか？

草野　いや宝塚は見えて頂くもので、祭りは参加するものですから、参加する人全部が主役なんです。そういう意味では宝塚とは全く違って、その違いから来る難

しさというものがあるとしてよろしくね。

——今田さんはカッターレース選手ということで選手立場から見た神戸まつり、そのあたりをお聞かせ下さいませんか……カッターレースはもう何年になるんですか？

今田　もう10年になるんですよ。私が今年で5回めになるんですよ。一昨年までは船会社関連と言いますか業界の新聞にしか募集記事が載っていなかったんですが、去年からは一般の新聞に載るようになりましたので、参加応募がずいぶん増えまして、今は抽選で参加者を絞っているんですよ。去年はクイーン神戸の方々10名のチーム参加もありまして、なかなか盛りあげましたよ。

増田　宝塚でもチームを組んだらいいですね(笑)。

妹尾　これはやはり祭りの中ではね、神戸でなければできない祭りでしょうね。港があって商船大学があって……：どういんですか、全体としては定着したように見えますよね、部分部分を押しえますとね、かなり変わって来ましてね、今年もJCさん、よくがんばって来てますよ。

——今年はどうですかJCとしては？

増田　今まで単体で神戸まつりに参画させて頂いて来ましたが、青年会議所自体も考えるところがありまして、やはり地域の方と相まって盛り上げるのが一番じゃないかと……今年も元町、東灘の方々と一緒に事業をしようというので、今年も3つの事業をさせて頂くわけですが、一つはメインパレードで東灘・灘区有志の方に「揃いだんじり」をして頂き、また元町では元町のPR委員会の方たちと一緒に「第一回元町カップ」それに「大綱つな引き大会」。元町カップの方は8人の正式な綱引きで、大綱の方は150mの綱を50名ずつが引き合せて合計千人の綱引きになるんですが、まわりの方たちも燃えて「来たというか、ずいぶん盛り上がりまして来たね。それに、今まで暴走族の事件があつて以来ずいぶん長い間、中断しておりました前夜祭を今年もメリケンパーク



華やかな神戸まつりのオープニング

の方で「児童組コンサート」をやらせて頂くことになったんですが、前夜祭の方では「あそこに行けば何かがあるんだぞ」という部分を出したいですし、あくまでも15日のメインを盛り上げるためのものにしたいですね。

末廣 やはり祭りっていうのは、どんどんどんどん明るくしていったって、「市民のため」なんて言うよりも、「おもしろいから参加しようか」という雰囲気にもってければいいですよ。

妹尾 それでね、何とか夜の祭りを打開してゆくうまい方法はないものかと知恵を絞っていたんですが今年やっとなと花火をね、3カ所上げられるようになったんです。15日の晩に、六甲アイランド、ポートアイランド、それから須磨でね。花火を上げることになれば人がまた出てくると思うんですが、そのあたりからポツポツ始めよう

と。それにもう一つ夜の祭りを外に広げてゆく打開策として屋内での夜の祭りということも考えているんですよ。何とか工夫してね。それで花火と屋内での夜の祭りを結びつけて何らかの形を作っていけば、また新しい展開を広げてゆけるんじゃないかと思ってるんですよ。

田中 区の祭りではね、夜は制限されてないんですよ。ですから区の祭りの方で先導してゆければいいんですが、これからの神戸まつり——その提言。

——神戸まつりの抱える問題点をそれぞれお出し頂いたんですが、今後のことといたしまして、これからこんな部分をこういうふうに変えてゆければいい、というような提言などもお出し願えますか。ひとつ草野先生にお聞きしたいんですが、宝塚の立場から「神戸でこんなやつてみては？」というような御意見お持ちではないですか。

草野 宝塚の場合にはですね、まずショー作りに際してテーマを持たせまして流れを作ってゆくんんですが、やはりお祭りをショーに例えますと、どうしても前夜祭が必要ですね。夜の雰囲気の中で前夜祭がありましてですね「あしたからいよいよ祭りが始まるよ」という盛り上げが必要だと思えますね。それからショーの場合ですと、「色」を考えますね。全体を赤で行こうとか、金だとかテーマカラーみたいなものを決めますね。そうすると全体に調和がとれるんですよ。たくさんの人、いろんな物が集まってもね。

妹尾 神戸まつりもね、テーマがあるんですよ。「花と海と太陽の祭典」。今年は太陽なんです。テーマカラーを赤。

田中 でも一般参加も多いので、なかなか統一できないんですよ。

妹尾 そうですね。ま、希望なんですけど、カッターチームなんかにも真っ赤なシャツを着てやっていただければねえ。それも強制できませんし。

今田 そうですね。会社によって毎年カラーの決まって

いるところもありました。

来年こそはダンスの夕べを

——末廣先生、音楽的には何如ですか？

末廣 少し新しい曲を考えてはどうかと思えますね。それと舞踏会はどうぞでしょう。サンバ、民謡のできない人もいることですし。夜、室内でできる舞踏会なら参加できる方も多いいんじゃないですか。ダンスのはしごなんておもしろいと思いますよ。来年あたり考えてほしいですね。

増田 いえ、今年やるんですよ。末廣先生のおっしゃったようなことを、フィッシュダンスホールで。

末廣 着飾ったような雰囲気が出ればいいですね。華やかにね。屋外はともかくとして、屋内でね。

増田 今年いっぺん、そのフィッシュダンスホールを見て下さい、どんな形になるか。来られる方達がみなさんプロではなくて、神戸市内に住んでおられる方達、音楽に造詣の深い方達が「やろうじゃないか」という盛り上がりでやって頂く。それで構えた所をなくして当然無料です。それとも思うんですが、祭りの最後の余韻をなんとかしたいですね。いつもポツンと切れちゃって……。

妹尾 区民センターあたりでするダンスパーティーはね、レコード使えばいいわけですよ。

田中 そうです。へたに演出をするよりもね。

増田 でも多分高齢の方でもそうだと思うんですが、区民センターとか何とか会館じゃなくてちよっとおしゃれな名前が付いてればいいですけど。

今田 大阪の方で銀行か何かのところをホールにして演奏会をしたことがあるらしいんですが、神戸でも例えば日本銀行だとか普段入れないような所でやって頂くといいですけどねえ。

田中 しかし魅力ある建物も減ってますしね。

草野 話は変わりますが、このごろ女性が多いですよ。男にも参加してほしいですね。男が上半身裸でね、汗がキラキラ輝く。これは宝塚の及ばない世界だと思わんですけどね。それとさっき「余韻」とおっしゃいまし

たけども、最後の終わった瞬間に船なんかが一斉に汽笛を鳴らしてもいいと思うんですが。

増田 個人的にですが、神戸の街の光を一分間消してみたいですね。そうしたら神戸の街が宇宙に向かって、世界に向かって一斉にウインクできるという……。

それとこれまで18年間続けて来てこれからも続けてゆくことを考えると、何か伝えるものが欲しいですね。数字で絶対計れないものが必ず心の中にあるはずで、そういうものを祭の中にメッセージとして盛り込むことができたらと思いますね。

妹尾 これは祭りと直接関係ありませんが、各区の区民センターが文化の先端基地になってくれればと思うんですよ、行政の先端が区役所ですね。区民センターが区の文化の中心になるんだという、そういう意識込みが出てくるとね。それが祭りの中の繋がりになってくるんですけれどね。

増田 区民センターは行政の一端ではないという位置づけをするならば、皆さんがそういうふうに見えるならば区民センターという名前さえ変わって来ると思うんですよ。もっと区民の人達の利用しやすい違った名前ですね。そうするともっと広がりが出てくるし、強いて祭りだけじゃなく、文化の発展にも寄与できると思うんですよ。妹尾 だから区民センターそのものがね、区民の参加できる参加型のセンターになってくれるともっといいんだけど。

末廣 区民センターのムードがね、もっとネアカになってもらって館長さんに協力して頂かないとね。

妹尾 そうですね。ネアカでないかね。区民センターによつてね、やってらっしゃることにとでも差があるんですよ。やってる所は本当にその区の文化の拠点になっていますが、何にもしない所は全然ダメですね。

——やはりネアカはいいですね。

増田 ネクラになってはいけませんね。

——ネアカで今年もがんばりたいですね。

田崎真珠綵

取締役社長 田崎 俊作  
神戸市中央区港島中町6-3-2  
TEL (078) 302-3321

株式会社オールスタイル総本社

取締役社長 川上 勉  
神戸市中央区港島中町6丁目5-1  
TEL (078) 302-3311





## 花と海と太陽の祭典

第18回

# 神戸まつりガイド

昭和63年 5月13日(金)～15日(日)

創るよろこび、参加する楽しさ……。初夏の陽差しの下、さあ、恒例の神戸まつりの始まりです。

5月13日(金)  
前夜祭

●クイーン神戸フェスティバル  
18時～20時

□神戸文化ホール・大ホール  
神戸まつりの花、第18回クイーン神戸の披露と代表クイーン神戸の選定発表、および戴冠。

本年度のクイーン神戸には、次の七名が決定している。

内川留朋(21歳・長田区)、織田真樹子(19歳・灘区)、加集千絵(20歳・垂水区)、中務 睦(20歳・北区)、橋本具子(19歳・東灘区)、藤田 香(22歳・兵庫区)、保番道子(19歳・北区)。

また、プリンセス神戸の披露や楽しいアトラクションも予定。ゲストは今陽子。

●六甲ファミリーまつり前夜祭

□14時～21時  
□王子競技場前広場  
□灘区行事

5月14日(土)  
各区のお祭り

●ふれあい中央カーニバル  
11時～17時  
東遊園地他  
●東灘なんでもまつり

兵庫信用金庫

理事長 園田 正和

神戸市中央区中山手通二丁目四一  
電話(〇七八)三九二一〇四一五

オールスタイル(株)

取締役社長 中田 美明

神戸市中央区港島中町六一五  
モールドピア  
電話(〇七八)三〇三二二三二一

㈱兵庫ワイド

サービス

取締役社長 柳田 創三  
神戸市中央区江戸町九四一二  
電話(〇七八)三九二一三五三〇

㈱加美乃素本舗

取締役社長 宮崎 幸三

神戸市中央区熊内橋通三丁目二五  
電話(〇七八)二三一一四五五代

灘神戸生活協同組合

組合長理事 高村 勲

神戸市東灘区住本町一丁目一九  
電話(〇七八)八四一四二二一

㈱神港ドレス

代表取締役 荒津 正美

神戸市灘区大和町三丁目一三  
電話(〇七八)八五一〇三五(代)



- 12時30分～20時  
住吉公園野球場
- 六甲ファミリーまつり(灘区)  
11時20分～21時  
王子競技場前広場
- はっぴいひろば(兵庫区)  
10時30分～20時30分  
湊川公園
- きたきたまつり(北区)  
11時～17時  
鉛蘭公園
- 長田フェスティバル  
10時30分～18時  
若松公園他
- 須磨音楽の森  
12時～20時15分  
須磨離宮公園・植物園
- のびゆく垂水の祭典  
11時～17時  
垂水海浜センター
- みどりと太陽のまつり(西区)  
10時20分～16時  
農業公園駐車場
- 港のパレード  
9時～13時  
ポートターミナル・神戸大橋・  
港一円  
港の繁栄と海上安全祈願祭を祝  
って行われる海上パレード

自民党兵庫県連会長

衆議院議員 砂田重民

神戸市中央区下山手二一三一二  
林第一ビル4階  
電話(〇七八)三二二一三三三二

㈱ジャパングダイヤ

モンドインポート

代表取締役 佐々木 章  
神戸市中央区琴ノ緒町五―三―五  
グリーンシャポービル611  
電話(〇七八)二四二―三九九一(代)

㈱ラジオ関西

取締役社長 山崎 進

神戸市須磨区行幸町一丁目一六  
電話(〇七八)七三二―四三二二(代)

加藤汽船株式会社

代表取締役社長 小崎 直

神戸市中央区磯上通八丁目三一七  
電話(〇七八)二五一―八五三五

エム・シーシー食品㈱

代表取締役社長 水垣 宏隆

神戸市東灘区深江浜町三三  
電話(〇七八)四五二―一四八二(代)

㈱大谷徳風社

代表取締役 大谷 晃世

神戸市長田区松野町一―二―二  
電話(〇七八)六二二―〇〇八九

5月15日(日)  
メイン  
フェスティバル

- おまつり行進  
(フラワールード〜大丸前)
- おまつりステージ(東遊園地)
- おもしろ市(江戸川筋)
- ふれあい広場(そごう西側)
- サンシャインフェスタ  
(噴水広場)
- 元町パレード(元町商店街)
- 大綱引大会(元町商店街)
- サンパ広場(京町筋)
- ちびっ子広場(浪花町筋)
- だんじり通り(播磨町)
- 神戸まつり記念スタンプ  
(まつり会場内)
- おまつりホール  
(ニューポートホテル地階)
- ヨットレース  
□ 9時〜16時
- 須磨〜塩屋沖
- ◆ ディンギー、クルーザーの各部  
に分かれての三角点レース
- ★ その他の催し
- 壁画/5月14日、15日  
市役所庁舎壁画
- 花バス・花自動車の運行  
5月11日〜15日 市内一円
- 協賛行事
- 神戸の百人色紙展  
4月27日〜5月1日

料亭北野異人坂  
㈱エンパイア

トレーディング  
代表取締役 鹿野 文一  
神戸市中央区北野町二丁目九番二  
電話(〇七八)二二二二二〇〇一

株式会社 ノーリツ

代表取締役 太田 敏郎  
神戸市中央区明石町三三  
電話(〇七八)三九一三三六二

ジャヴァグループ

代表取締役 細川 数夫  
神戸市中央区港島中町六番八二  
電話(〇七八)三〇二八二八二四

バンドー化学 ㈱

代表取締役社長 樺木 茂男  
神戸市中央区御幸通六丁目一十二  
(三宮ビル東館)  
電話(〇七八)二二二二二九二三

アーバンライフ ㈱

取締役社長 廣瀬 吉彦  
大阪市南区南船場四丁目一三  
電話(〇六)二四四一〇一一

ホームズジャパン ㈱

一級建築士事務所  
神戸建築技術研究所  
シャールック  
所長 前田 和徳  
神戸市須磨区天神町五丁目一五  
電話(〇七八)七三三九三三三





さんちかホール

●無料開放 5月14日、15日

王子動物園、六甲山牧場、森林植物園、相楽園、須磨離宮公園

●カッターレース

5月8日

11時30分～16時

メリケンパーク東側海域

●神戸J.C/祭ルネッサンス

5月14日

16時～20時

メリケンパーク

●児童組コンサート

●打ち上げ花火

5月14日 20時～

神戸港内六甲アイランド

150発の打上げ花火

●フェスティバル

ポートアイランド

5月14日

ポートアイランド市民広場

●日韓美術交流展

△1988年・ソウルオリンピック協賛

前期/5月11日～17日

後期/5月19日～25日

10時～18時 於京町ギャラリー

二紀会兵庫県支部が、韓国作家

10名を招待しての展覧会。6月17

日～23日にソウル同徳美術館で行

われる「韓日合同美術展」にさき

がけて行われるものである。

韓国側から10作家、日本側から

36作家が出品する。

麒麟ビール ㈱

神戸支社

支社長 直木 純

神戸市中央区御幸通四一〇一  
電話(〇七八)二五一八二五二四

㈱ホテルオークラ神戸

神戸市中央区波止場町四八番地

メリケンパーク  
電話(〇七八)三三三三〇二一

神戸おさかな

普及協会

代表理事 田中 辰夫

神戸市兵庫区中之島一〇一

電話(〇七八)六七二七六〇八

FAX(〇七八)六七二七七六八

今西建設株式会社

代表取締役社長 今西 恭晟

尼崎市南塚口町一七七一三

電話(〇六)四二九一五一〇

大阪市東区北浜五一〇一

電話(〇六)二二二二一三三四

日用品雑貨卸商社

友藤商事株式会社

代表取締役 友藤 順義

神戸市須磨区弥栄合一四一五

電話(〇七八)七九二〇〇〇四

FAX(〇七八)七九二一五五五五

プロメテウス株式会社

代表取締役 所司原 義久

神戸市中央区北長狭通三二二一八

電話(〇七八)三三二一〇〇〇

# 若い力 集めて

## 神戸JC

News

<5月>

神戸まつり特集号

社団法人  
神戸青年会議所

神戸市中央区浜辺通5丁目1-14  
神戸商工貿易センタービル14階  
電話(078) 25110085

社団法人神戸青年会議所(西村理・理事長)は、「明るい豊かな社会」の実現を理念とし、魅力ある神戸の街づくりをめざして運動を進めています。

その一環として、これまでから神戸まつりにも、神戸青年会議所として積極的に取り組んで来ました。「国際デザートフェア」や「食文化シンポジウム」など「食」に関するイベントを開いています。

さて、今年の神戸まつりでは、趣きをガラリと変えてみました。

題して「神戸JCLネットサンス」。

その内容は、まず五月十四日(土)午後六時から八時まで、メリケンパークで行う「神戸まつり前夜祭」「児童組コンサート」。男のダイナミズムにあふれる迫力満点のステージが見ものです(無料)。

翌日の十五日(日)には、メインフェスティバル&だんじり通り(中央区播磨町)での「揃いだんじり」です。

最近、若者の間で、「だんじり」熱が高まっています。が、古来から伝わっている郷土芸能を改めて認識してもらおうとの主旨で行います。

同じ十五日(日)の午後三時から五時までは、元町通四

自民党副幹事長

衆議院議員 石井 一

神戸市中央区北長狭通四一―一十二  
電話(078) 3332190一七  
九〇一八

光印刷株式会社

代表取締役 南部 圭三

神戸市中央区下山手通二一六―一  
電話(078) 3321155一

生田神社

宮司 加藤 隆久

神戸市中央区下山手通一―一  
電話(078) 3321385一

横山倉庫株式会社  
磯上モータープール

取締役社長 横山 吉雄

神戸市中央区磯上通八丁目一―五  
電話(078) 2311531一

福大実業株式会社

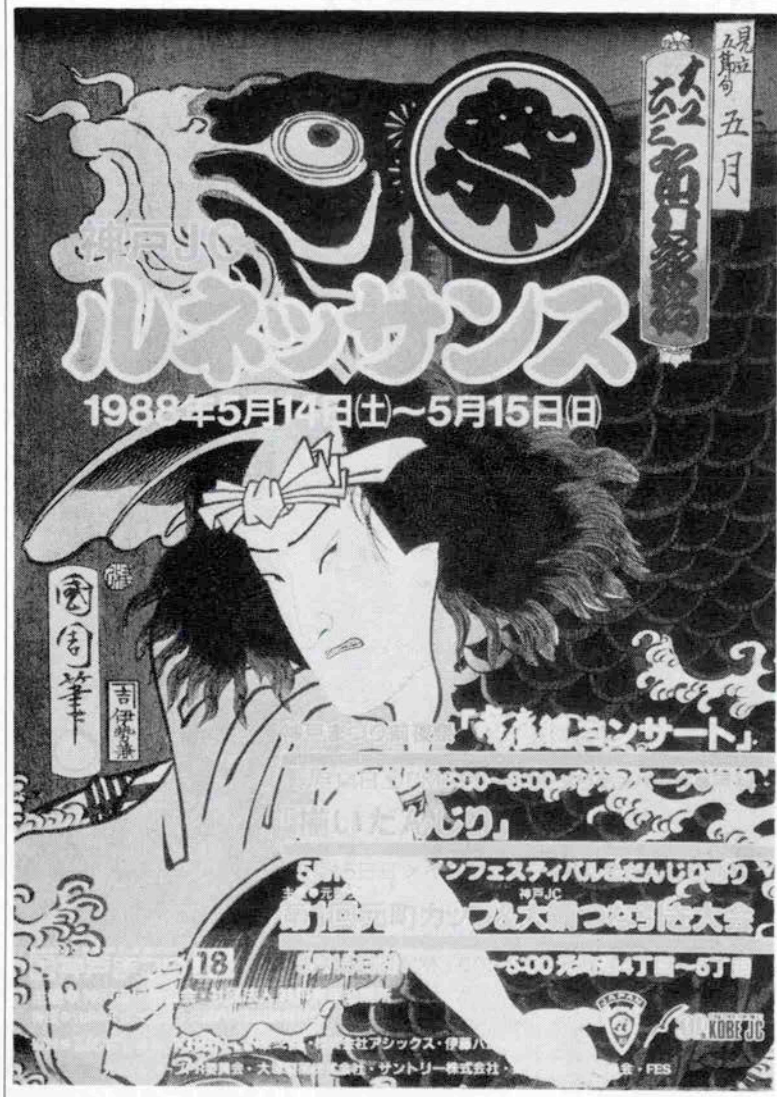
代表取締役 尤 昭福

神戸市中央区雲井通五―二―一  
電話(078) 2521123一

(株) サンコトブキ

代表取締役社長 細谷 俊雄

神戸市中央区元町通二丁目七―七  
電話(078) 392122一六



〆五丁目で、元町グランプR委員会との共催で「第一  
 回元町カップ&大綱つな引き大会」を開きます。  
 長さ二五〇メートル、重さ八〇〇キロという大綱を、  
 千人が引くという大スケールのつな引きです。  
 綱引きという歴史と伝統のあるイベントを行うことに  
 よって、神戸まつりの文化性を高め、合わせて元町の活  
 性化を願っての催しです。  
 皆さんも神戸J.C主催行事に参加して下さい。

阙レストラン 西村屋

代表取締役 西村 理

神戸市中央区磯上通七十一〇  
 電話 〇七八 二三三―三六六三 四

電通建設株式会社

代表取締役 大石 伸雄

大阪市北区鶴野町一八鶴野ビル3階  
 電話 〇六 三七五―〇三二七